地域とせいしんの絆

せいしんは、金融サービスの提供と地域貢献活動を通じて、地域を明るく元気にします。

当金庫は「地域社会の繁栄に貢献する」
といった経営理念のもと、金融サービスの提供を通じて、
地域経済の持続的発展に努めていくことはもちろんのこと、
地域社会の一員として地域貢献活動に取組み、
環境・教育・文化といった幅広い分野で地域に貢献していきます。

お客さま

平成25年度 業績ハイライト

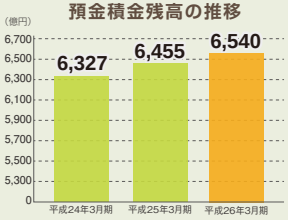
預金積金残高

6,540億円

平成25年度は、地域の皆さま方のお役に立てるよう、環境問題に取組む団体や社会貢献活動に取組むNPOを支援する基金へ、販売総額の一定割合を寄付する仕組みを取入れた定期預金を発売いたしました。また、お客さまが楽しみながら資産形成をいただけるよう、グルメ商品をお届けする定期積金や定期預金も販売いたしました。

その結果、個人のお客さまを中心に前期比84億39百万円増加いたしました。

預金積金残高の推移



貸出金残高

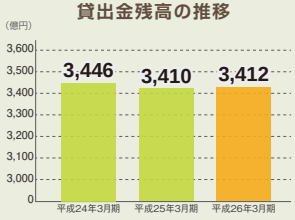
3,412億円

金融サービスを通じて地元企業の成長と地域経済の活性化のお役に立てるよう、地道な活動を展開してまいりました。

「医療・介護・環境・エネルギー」等の成長分野向け資金ニーズへ積極的に対応したほか、企業の成長段階に応じて担保や保証に過度に頼らない融資取組み、コンサルティング業務や様々な補助制度活用のサポート活動も強化いたしました。また、リフォームや自動車に関するローンに、介護・福祉分野に関する金利優遇を加えました。

その結果、成長分野向けや個人ローンを中心に前期比1億62百万円増加いたしました。

貸出金残高の推移



当期純利益

14億円

利回りの低下により貸出金利息は減少いたしましたが、余裕金の効率運用や経費削減に努めた結果、当期純利益は14億85百万円と前期比1億27百万円の増益となりました。

厳しい経営環境下においても、引続き安定した利益を確保いたしました。

自己資本比率(単体ベース)

17.90%

平成26年3月期の自己資本比率は17.90%と、前期比0.40ポイント上昇し、国内基準(4%)を大きく上回る水準を維持しております。

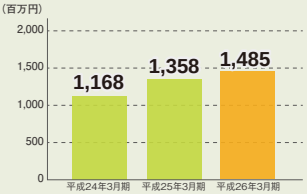
今後とも、皆さまに安心してご利用いただけるよう、自己資本の充実に努めてまいります。

不良債権比率(金融再生法ベース)

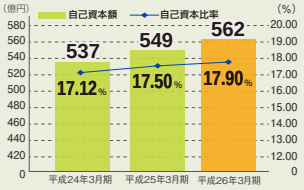
平成26年3月期の金融再生法上の不良債権残高は255億円となり、不良債権比率は7.41%となりました。

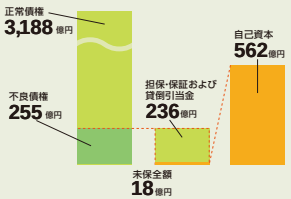
この内、担保・保証および貸倒引当金で236億円、92.69%がカバーされております。残りの不良債権残高18億円も潤沢な自己資本562億円によりカバーされており、不良債権に対する備えは万全です。

当期純利益の推移



自己資本額/自己資本比率



金融再生法に基づく開示債権の状況

(平成26年3月期)